

平成 29 年度 第 53 回
「小島三郎記念文化賞」推薦依頼

拝啓 春暖の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、本財団の活動に格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本事業は、元国立予防衛生研究所長故小島三郎博士のご遺徳を永く記念すべく、1965年（昭和40年）4月に創設され、その記念事業の一つとして「小島三郎記念文化賞」が設定されております。

本賞は、故小島三郎博士が広く関係をもたれていた病原微生物学、感染症学、公衆衛生学その他これらに関連した領域において学問的に顕著な業績をあげた方に贈呈するものであります。

つきましては、貴殿より次頁の審査規定をご参照の上、本賞該当者のご推薦を賜りたくお願い申し上げます。

敬具

平成 29 年 3 月 吉日

公益財団法人 黒住医学研究振興財団

代表理事・理事長

河合 忠



※公益財団法人 黒住医学研究振興財団の事務局は

東京都台東区台東 4-19-9 山口ビル7 栄研化学株式会社内にあります。

TEL 03-5846-3504 FAX 03-5846-3514

URL <http://www.kmf.or.jp>

E-mail : info@kmf.or.jp

平成 29 年度 第 53 回
「小島三郎記念文化賞」 審査規定

1. 本賞は「小島三郎記念文化賞」と称する。
2. 本賞は、病原微生物学、感染症学、公衆衛生学その他これらに関連した領域において学問的に顕著な業績で、しかも我が国の文化に貢献したと思われる研究成果に対して贈るものである。
3. 審査の対象は、原則として最近の業績であり、かつ、評価の定まったものとする。
4. 本賞の審査は、本財団が委嘱した選考委員がこれを行う。
5. 推薦は、本財団が関係領域の学識経験者に委嘱するのを原則とする。
6. 本賞の審査は毎年 1 回行う。

附則

- (1) 推薦用紙は、本財団ホームページよりダウンロードしてご使用ください。(年度毎に改訂されますのでご注意ください。)
- (2) 論文別刷等を同封してください。
- (3) 締切りは平成 29 年 5 月 31 日 (水) 必着とします。
- (4) 送付先

(切り取ってご使用ください)

〒110-8408
東京都台東区台東 4-19-9 山口ビル 7
栄研化学 (株) 内
公益財団法人 黒住医学研究振興財団宛

本賞の第 16 回から第 52 回までの受賞者は次の方々です。
(第 1 回からの詳細は財団ホームページを参照願います。)

年 度	氏 名	所 属 機 関
第 16 回 1980 年 (昭 55) 11 月	19.本間 遜 博士	東京大学名誉教授
第 17 回 1981 年 (昭 56) 11 月	20.牧野 慧 博士	北里研究所ウイルス部長
第 18 回 1982 年 (昭 57) 11 月	21.中谷林太郎博士	東京医科歯科大学微生物学 教授
第 19 回 1983 年 (昭 58) 11 月	22 中江 太治 博士	東海大学医学部総合医学研究所 教授
第 20 回 1984 年 (昭 59) 11 月	23.本間 守男 博士 24.中嶋 宏 博士	神戸大学医学部微生物学 教授 WHO 西太平洋地域 事務局長
第 21 回 1985 年 (昭 60) 11 月	25.竹田 美文 博士	東京大学医科学研究所 教授
第 22 回 1986 年 (昭 61) 11 月	26.西岡久壽彌博士	北里研究所肝臓病研究センター顧問
第 23 回 1987 年 (昭 62) 11 月	27.須藤 恒久 博士	秋田大学医学部微生物学 教授
第 24 回 1988 年 (昭 63) 10 月	28.山西 弘一 博士	大阪大学微生物病研究所 助教授
第 25 回 1989 年 (平元) 11 月	29 五十嵐 章 博士	長崎大学熱帯医学研究所 教授
第 26 回 1990 年 (平 2) 11 月	30.斎藤 和久 博士	国際医学情報センター 理事長
第 27 回 1991 年 (平 3) 11 月	31.倉田 毅 博士	国立予防衛生研究所 病理部長
第 28 回 1992 年 (平 4) 11 月	32.日野 茂男 博士	鳥取大学医学部ウイルス学 教授
第 29 回 1993 年 (平 5) 11 月	33.小澤 敦 博士	東海大学医学部 特任教授
第 30 回 1994 年 (平 6) 11 月	34.速水 正憲 博士	京都大学ウイルス研究所 教授
第 31 回 1995 年 (平 7) 11 月	35.佐藤 勇治 博士 36.木村三生夫博士	前・国立予防衛生研究所細菌部 室長 東海大学名誉教授
第 32 回 1996 年 (平 8) 11 月	37.宮村 達男 博士	国立予防衛生研究所ウイルス第 2 部長
第 33 回 1997 年 (平 9) 11 月	38.相川 正道 博士 39.本田 武司 博士	東海大学総合医学研究所 教授 大阪大学微生物病研究所 教授
第 34 回 1998 年 (平 10) 10 月	40.中村 信一 博士	金沢大学医学部医学科 (微生物学) 教授
第 35 回 1999 年 (平 11) 10 月	41.光山 正雄 博士	京都大学大学院医学研究科 教授
第 36 回 2000 年 (平 12) 10 月	42.内山 竹彦 博士	東京女子医科大学微生物学免疫学 教授
第 37 回 2001 年 (平 13) 10 月	43.尾身 茂 博士	WHO 西太平洋地域 事務局長
第 38 回 2002 年 (平 14) 10 月	44.品川 森一 博士	帯広畜産大学公衆衛生学 教授
第 39 回 2003 年 (平 15) 10 月	45.橋爪 壮 博士	(財)日本ポリオ研究所 理事長
第 40 回 2004 年 (平 16) 10 月	46.山口 恵三 博士	東邦大学医学部微生物学講座 教授

年 度	氏 名 ・ 所 属 機 関 ・ 業 績 題 目
第 4 1 回 2005 年 (平 17) 10 月	47.渡邊 治雄 博士 国立感染症研究所 副所長 (業績の題目) 腸内細菌ゲノムの多様性解明と分子疫学的解析への応用
第 4 2 回 2006 年 (平 18) 10 月	48.西山 幸廣 博士 名古屋大学大学院医学系研究科微生物・免疫学講座ウイルス学分野 教授 (業績の題目) ヘルペスウイルスに関する基盤研究とその応用
第 4 3 回 2007 年 (平 19) 10 月	49.馬原 文彦 博士 馬原医院 院長 (業績の題目) 日本紅斑熱の発見と臨床的疫学的研究
第 4 4 回 2008 年 (平 20) 10 月	50.岡本 宏明 博士 自治医科大学感染・免疫学講座 ウイルス学部門 教授 (業績の題目) 肝炎ウイルスの分子医学的研究とその応用
第 4 5 回 2009 年 (平 21) 10 月	51.伊藤 亮 博士 旭川医科大学医学部寄生虫学講座 教授 (業績の題目) エキノコックス症に関する免疫診断法の開発と流行地での応用
第 4 6 回 2010 年 (平 22) 10 月	52.藤田 尚志 博士 京都大学 ウイルス研究所 教授 (業績の題目) 細胞質ウイルスセンサーRIG - I ファミリーの発見
第 4 7 回 2011 年 (平 23) 10 月	53.吉開 泰信 博士 九州大学生体防御医学研究所附属感染ネットワーク研究センターセンター長 教授 (業績の題目) γ δ 型 T 細胞の発見と感染防御機構での役割の解明
第 4 8 回 2012 年 (平 24) 10 月	54.荒川 宜親 博士 名古屋大学大学院医学系研究科 分子病原細菌学/耐性菌制御学分野 教授 (業績の題目) 病原細菌が獲得した新規薬剤耐性機構 (16S リボソーム RNA メチラーゼ) に関する体系的研究
第 4 9 回 2013 年 (平 25) 10 月	55.江崎 孝行 博士 岐阜大学大学院医学系研究科 再生分子統御学講座 病原体制御学分野 教授 (業績の題目) 病原細菌の分類手法の開発とそれを利用した微生物の社会基盤の確立
第 5 0 回 2014 年 (平 26) 10 月	56.中谷比呂樹博士 世界保健機関 (WHO) 本部 事務局長補 医学博士 (業績の題目) 不健康と貧困の悪循環を断つための地球規模での公衆衛生学的アプローチ
第 5 1 回 2015 年 (平 27) 10 月	57.瀬谷 司 博士 北海道大学大学院医学研究科免疫学分野 教授 (業績の題目) 自然免疫の自己・非自己識別機構に関する研究
第 5 2 回 2016 年 (平 28) 10 月	58.山崎 晶 博士 九州大学生体防御医学研究所感染ネットワーク研究センター免疫制御学分野 教授 (業績の題目) 結核菌受容体群の発見と宿主免疫賦活化機構の解明

所属機関長殿

平成 29年度 研究助成のご案内について

拝啓 時下ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。

平素は、本財団の活動に格別なるご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

ご承知の如く本財団は、研究助成事業と顕彰事業を 2 本の柱とする事業を展開しております。

さて、平成 29 年度の研究助成事業として「臨床検査、衛生検査及びこれらに係る基礎医学に関する調査並びに研究」の領域でより優れた学術研究・業績テーマに対して研究助成を行います。本年度は本財団創立 25 周年の記念の年であり、創立以来続けておりますこの研究助成事業も記念すべき節目の第 25 回の贈呈となります。また、対象領域「一般・生理学」を新設いたしました。

早速ながら、本年度の研究助成金申請書を作成しましたのでお届けいたします。

ご多忙中のところ、恐縮ではございますが貴機関の関係者にご伝達の上、平成 29 年 5 月 31 日(水、当日消印有効)までに、申請者ご自身から本財団宛申請くださいますようお願いの程、ご案内かたがたお願い申し上げます。

敬具

平成 29 年 3 月 吉日

公益財団法人 黒住医学研究振興財団

代表理事・理事長 河合



※公益財団法人 黒住医学研究振興財団の事務局は
東京都台東区台東 4-19-9 山口ビル7 栄研化学株式会社内にあります。
TEL 03-5846-3504 FAX 03-5846-3514
URL <http://www.kmf.or.jp> E-mail: info@kmf.or.jp

公益財団法人 黒住医学研究振興財団
平成 29 年度 第 25 回 研究助成事業募集要項

1. 研究助成事業の対象

研究助成は、臨床検査、衛生検査及びこれらに係る基礎医学に関する調査並びに研究で、より優れた学術研究・業績を研究助成事業の対象とし、若手の育成（原則として 50 歳以下）を主眼としています。（財団ホームページ「よくあるご質問」をご参照ください。）

2. 応募資格

医学関連の大学及びその他の教育機関、研究所並びに医療機関等において、本研究助成事業の対象領域において調査、研究に積極的に取り組もうとする個人とします。

ただし、大学教授及び国公立研究機関の部長並びにこれらに準ずる職位の方は除きます。

3. 対象領域

- | | |
|--------------------|--------------|
| ① 臨床化学 | ② 分子生物学（医学） |
| ③ 臨床微生物学 | ④ 臨床免疫学 |
| ⑤ 検査血液学 | ⑥ 人体病理学 |
| ⑦ 疫学 ^{注1} | ⑧ 一般・生理学（新設） |

の 8 つの領域とします。

注 1：臨床検査・衛生検査についての集団(mass)を対象に扱う研究

4. 募集期間

平成 29 年 3 月 10 日（木）から平成 29 年 5 月 31 日（火）までとします。

なお、郵送の場合は当日の消印まで有効です。

5. 研究助成件数及び研究助成額

研究助成額は 1 件 100 万円を限度とし、15 件以上とします。

研究期間は、原則として 1 年間としますが、終了しない場合は中間報告として研究・会計報告書を提出していただきます。

6. 応募方法

所定の申請書に必要事項を原則としてワープロソフトにより黒インクで記入し、本財団研究助成金選考委員会 宛に送付してください。

なお、提出数は「原本と複写 2 部」の合計 3 部を送付してください。

☆財団ホームページ募集要項から Word 2003 ファイルで申請書をダウンロードすることができます。

7. 審査方法及び通知

本財団の委嘱する審査委員が 8 つの対象領域ごとに審査したあと、選考委員会で選考審査を行い、理事会で決定します。その結果は、本財団ホームページに掲載し、受贈者にその旨を通知いたします。

8. 研究助成金の贈呈

平成 29 年 10 月 27 日（金）の小島三郎記念文化賞贈呈式にあわせて、研究助成金を贈呈します。

9. 受贈者の研究助成金受領後の義務

本財団の研究助成金募集要項により手続きを行っていただきますが、本財団の年報発行のため、次の①、②、④の事項を研究助成金受領後(贈呈式後)、1年以内に本財団事務局へ提出していただきます。

- ① 研究結果については 2,000 字以内の報告書の提出
- ② 会計報告の提出
- ③ 研究結果を発表する口頭発表(記録あり)、論文発表等には本財団の研究助成を受けた旨の附記(英字表記の場合は、「KUROZUMI MEDICAL FOUNDATION」)
- ④ 継続研究の場合は中間報告書の提出

※「研究報告書」の本財団事務局への提出が確認できなかった場合は、当該研究課題について贈呈した研究助成金の贈呈決定の取り消し及び返還を求め、所属する研究機関の名称等の情報を公表する場合があります。

10. 申請書類の提出先

〒110-8408

東京都台東区台東 4-19-9 山口ビル7 栄研化学株式会社内

公益財団法人 黒住医学研究振興財団 研究助成金選考委員会 宛

(問い合わせ先)

公益財団法人 黒住医学研究振興財団 事務局

TEL 03-5846-3504

FAX 03-5846-3514

E-mail info@kmf.or.jp

附記 ○必ず公益財団法人黒住医学研究振興財団のホームページから申請書をダウンロードしてご使用ください。(年度毎に改訂されますのでご注意ください。)

URL <http://www.kmf.or.jp/>

○所属機関長は大学長、研究所長、病院長及びそれに相当する職域の長であること。

○応募の書類は一切返却いたしません。

第 24 回研究助成金贈呈者の研究課題一覧 (平成 28 年度)

参考

氏 名	所 属	研 究 課 題	選考対象
いけだ みえ 池田 美恵	順天堂大学医学部 熱帯医学・寄生虫病学講座 博士研究員 生命科学博士	熱帯熱マラリア原虫アルテミシニン耐性簡易迅速定量法の開発	臨床微生物学
いしかわ たけし 石川 剛	京都府立医科大学消化器 内科学 講師 医学博士	食道がん患者における血中可溶性免疫調節因子の治療効果予測マーカーとしての意義	臨床免疫学
いのした なおこ 井下 尚子	冲中記念成人病研究所 研究員(兼務) 虎の門病院病理診断科 医長 医学博士	尿路上皮癌における Lynch 症候群の頻度とその臨床病理学的特徴の検討～150 例の尿路上皮癌組織標本の microsatellite instability(MSI)検査を含めた後向き検討と、尿検体を用いた MSI 検査への前向き検討と臨床応用	人体病理学
おおくぼ のりゆき 大久保 礼由	東北大学病院 診療技術部検査部門 臨床検査技師 医学博士	フローサイトメトリーを用いた B 前駆細胞リンパ芽球性白血病/リンパ腫と hematogones の鑑別法の確立	検査血液学
かわの みき 河野 弥季	国際医療福祉大学成田キャンパス保健医療学部 医学検査学科 助教	エタノールアミンリン酸の高感度測定法開発とうつ病のスクリーニング検査への応用	臨床化学
くらの まこと 蔵野 信	東京大学医学部附属病院 検査部 助教 医学博士	ステロールー斉測定法の臨床検査医学への導入	臨床化学
こまつ まさる 小松 方	天理医療大学医療学部 臨床検査学科 准教授 博士(保健学)	アフィニティークロマトグラフィーを用いた臨床分離株からの IMP-1 型カルバペネマーゼの精製法およびマトリックス支援レーザー脱離イオン化法を用いた IMP-1 の迅速同定法の開発	臨床微生物学
すえひろ ゆたか 末廣 寛	山口大学大学院医学系研究 科臨床検査・腫瘍学講座 准教授 医学博士	便潜血検査と組み合わせることにより大腸腫瘍スクリーニング精度向上を実現する便 DNA 検査法の開発	分子生物学
にしむら ともやす 西村 知泰	慶應義塾大学 保健管理センター 専任講師 医学博士	血清マイクロ RNA 定量による肺 <i>Mycobacterium avium</i> complex 症の疾患活動性評価	臨床微生物学
ひねの や あつし 日根野谷 淳	大阪府立大学大学院生命環 境科学研究科獣医学専攻 助教 獣医学博士	新興病原体 <i>Escherichia albertii</i> の分子疫学と簡便迅速検査法開発への展開	臨床微生物学
まつもと ともこ 松本 智子	奈良県立医科大学血友病 治療・病態解析学講座 特任助教 医学博士	凝固波形解析を用いた包括的凝固線溶ダイナミクス評価法の創出	検査血液学
やすい よしひろ 安井 善宏	愛知県衛生研究所 生物学部ウイルス研究室 室長 薬学博士	インフルエンザウイルス流行株のノイラミニダーゼ阻害剤耐性変異検出法の開発と愛知県内流行株における解析	臨床微生物学
よしざわ あきひと 吉澤 明彦	京都大学医学部附属病院 病理診断科 講師 医学博士	ホルマリン固定パラフィン包埋材料 (FFPE 材料)を用いた RNA in situ hybridization 法による肺腺癌の稀少遺伝子異常の検出	分子生物学
わたなべ けんいち 渡邊 謙一	帯広畜産大学グローブシアグロ メディシ研究センター 特任助教 獣医学博士	肝機能障害患者における E 型肝炎ウイルスの分子疫学調査とその診断的意義に関する研究	疫学

総申請者 238 名
研究助成金総額 1,340 万円(内訳 100 万円:8 名、90 万円:6 名)

所属機関長殿

創立25周年記念特別研究助成金のご案内について

拝啓 時下ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。

平素は、本財団の活動に格別なるご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

ご承知の如く本財団は、研究助成事業と顕彰事業を2本の柱とする事業を展開しております。

さて、平成29年度の研究助成事業として「臨床検査、衛生検査及びこれらに係る基礎医学に関する調査並びに研究」の領域でより優れた学術研究・業績テーマに対して研究助成を行います。本年度は本財団創立25周年の記念の年であり、創立以来続けておりますこの研究助成事業も記念すべき節目の第25回の贈呈となります。つきましてはこれを記念いたしまして「**創立25周年記念特別研究助成金**」を設けました。

早速ながら、本年度の研究助成金申請書を作成しましたのでお届けいたします。ご多忙中のところ、恐縮ではございますが貴機関の関係者にご伝達の上、**平成29年5月31日(水、当日消印有効)**までに、申請者ご自身から本財団宛申請くださいますようお願いの程、ご案内かたがたお願い申し上げます。

敬具

平成29年3月吉日

公益財団法人 黒住医学研究振興財団

代表理事・理事長 河合



※公益財団法人 黒住医学研究振興財団の事務局は
東京都台東区台東4-19-9 山口ビル7 栄研化学株式会社内にあります。
TEL 03-5846-3504 FAX 03-5846-3514
URL <http://www.kmf.or.jp> E-mail: info@kmf.or.jp

公益財団法人 黒住医学研究振興財団
創立25周年記念特別研究助成金 募集要項

1. 研究助成事業の対象

研究助成は、臨床検査、衛生検査及びこれらに係る基礎医学に関する調査並びに研究で、より優れた学術研究・業績を研究助成事業の対象を主眼としています。

2. 応募資格

医学関連の学会、研究会、研究機関等において、本研究助成事業の対象領域において調査、研究に積極的に取り組もうとする**団体**とします。

ただし、営利事業を主としている団体は除きます。

3. 対象領域

臨床検査、微生物検査の標準化

4. 募集期間

平成29年3月10日(金)から平成29年5月31日(水)までとします。

なお、郵送の場合は当日の消印まで有効です。

5. 研究助成件数及び研究助成額

研究助成額は総額1,000万円を限度とし、2件以上とします。

研究期間は、原則として1年間としますが、終了しない場合は中間報告として研究・会計報告書を提出していただきます。

6. 応募方法

所定の申請書に必要事項を原則としてワープロソフトにより黒インクで記入し、本財団研究助成金選考委員会宛に送付してください。

なお、提出数は「原本と複写2部」の合計3部を送付してください。

☆財団ホームページ募集要項から Word 2003 ファイルで申請書をダウンロードすることができます。

7. 審査方法及び通知

本財団の委嘱する審査委員が審査したあと、選考委員会で選考審査を行い、理事会で決定します。その結果は、本財団ホームページに掲載し、受贈者にその旨を通知いたします。

8. 研究助成金の贈呈

平成29年10月27日(金)の小島三郎記念文化賞贈呈式にあわせて、研究助成金を贈呈します。

9. 受贈者の研究助成金受領後の義務

本財団の研究助成金募集要項により手続きを行っていただきますが、本財団の年報発行のため、次の①、②、④の事項を**研究助成金受領後(贈呈式後)、1年以内**に本財団事務局へ提出していただきます。

① 研究結果については2,000字以内の報告書の提出

② 会計報告の提出

③ 研究結果を発表する口頭発表(記録あり)、論文発表等には本財団の研究助成を受けた旨の附記(英字表記の場合は、「KUROZUMI MEDICAL FOUNDATION」)

④ 継続研究の場合は中間報告書の提出

※「研究報告書」の本財団事務局への提出が確認できなかった場合は、当該研究課題について贈呈した研究助成金の贈呈決定の取り消し及び返還を求め、所属する研究機関の名称等の情報を公表する場合があります。

10. 申請書類の提出先

〒110-8408

東京都台東区台東4-19-9 山口ビル7 栄研化学株式会社内

公益財団法人 黒住医学研究振興財団 研究助成金選考委員会 宛

(問い合わせ先)

公益財団法人 黒住医学研究振興財団 事務局

TEL 03-5846-3504

FAX 03-5846-3514

E-mail info@kmf.or.jp

附記 ○必ず公益財団法人黒住医学研究振興財団のホームページから申請書をダウンロードしてご使用ください。(研究助成金申請用紙とは別になりますのでご注意ください。)

URL <http://www.kmf.or.jp/>

○団体代表者は団体の理事長、学会長、大学長、研究所長及びそれに相当する職域の長であること。

○応募の書類は一切返却いたしません。